



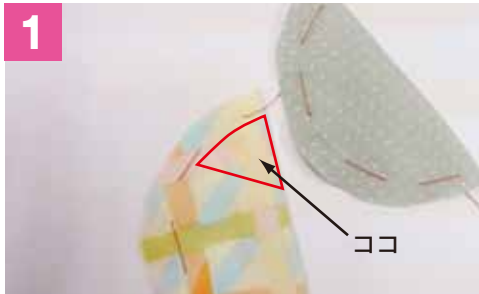
デザイン／梶 成子

<用具> つまみ細工プレート 丸ひだつまみL・S
ぬい針
カットワークはさみ115
手芸用ピンセットC-15

<材料> ・布A(赤系) L用:11cm角×7枚、S用:8cm角×8枚
・布B(パステル)L用:11cm角×6枚、S用:8cm角×11枚
・ペップ(白パール)40本
・コットンパール(10mm)3個
・コーム 2個
・フェルト
・布補修ボンド「シリコンヘッド」
・ぬい糸

基本の作り方

①巻きバラはつまみ細工プレート(丸ひだつまみ)で作ります。※花びら一枚の作り方は、商品に付属の説明書をご覧ください。「中」の巻きバラを例にしています。(1段め:S×3枚、2段め:L×3枚、3段め:L×3枚)



1枚めと2枚めの花びらを作り、印の位置に布補修ボンド「シリコンヘッド」を塗ります。※糸につかないように注意します。



糸にボンドがつかないように注意しながら、圧着します。※花びらのカーブを合わせて圧着します。



1枚めと2枚めが圧着できました。



3枚めを作り、2枚めと布補修ボンド「シリコンヘッド」で圧着したところです。



1枚めの花びらの内側になる方のまん中から針を入れ、



花の外側に出します。花びらのまん中に指を入れ、糸を引いて形を整えます。



3枚めの花びらと1枚めの花びらを布補修ボンド「シリコンヘッド」で圧着し、1段めができました。

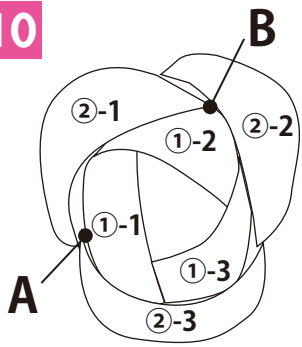


2段めも、同じように花びらを作ります。



Lの花びらの時は、重なる部分が少し大きくなります。同じように糸にボンドがつかないように注意して圧着します。

10



2段め以降は、前の段の花びらのまん中からまん中に合わせて形を整えます。

【例】

1段めの1枚め(①-1)のまん中(A)から糸が出ていますので、2段めの1枚め(②-1)は、Aの位置から作り始めることになります。ですので、「A(①-1のまん中)からB(①-2のまん中)まで」になるように絞ります。

※花びらが半分ずつズレて合わさるように整えます。

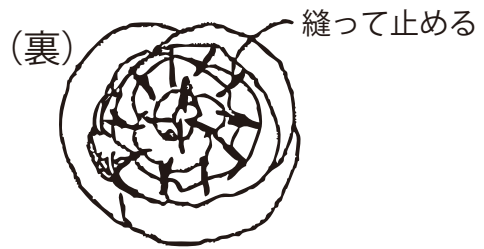
※巻きバラを作る時は、糸を引くタイミングに注意してください。花びら1枚ごとは軽く整える程度で、段の最後で糸を引っ張り全体の形を整えてください。

11

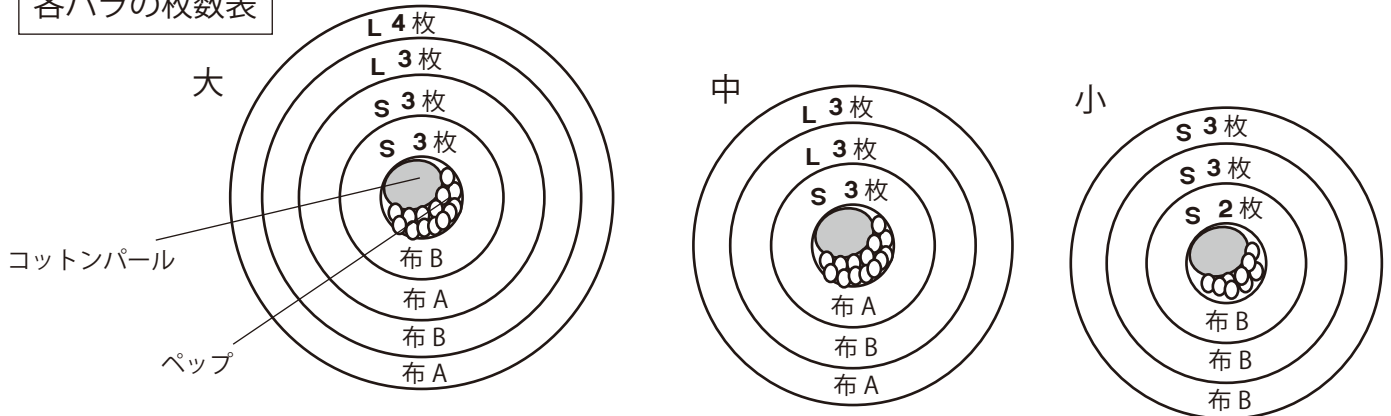


中の巻きバラができました。

②最終段まで出来たら、全体の形を整えながら裏側から残り糸で縫い止めます。

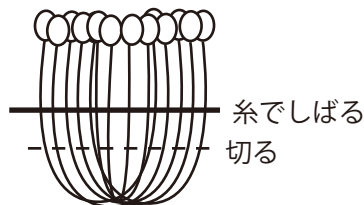


各バラの枚数表



③各バラの中心にコットンパールとペップを布補修ボンド「シリコンヘッド」で貼り付けます。ペップは図のようにまとめてから付けます。

※ペップは半分に折って糸でしばり、必要な長さに切ります(図参照)



半分に折り曲げたペップの束を糸でしばって、必要な長さに切ります。

大・中:15本
小:10本

④小と中を糸で縫い付け、コームを縫いつけます。大にもコームを縫い付けます。

縫い付けた部分を隠せるサイズに切ったフェルトを、布補修ボンド「シリコンヘッド」で貼り付けて、完成です。